



# 秋元病院だより

0005

2005年 5月号

発行 医療法人梨香会秋元病院

〒273-0121 千葉県鎌ヶ谷市初富 808-54

TEL 047-446-8100

FAX 047-446-8101

<http://www.akimoto-hospital.com>

## 基本理念

患者様のために家族や仲間たちのために己のために

地球のために未来のために子供たちのために

私たち梨香会の職員は日々学び、『We are a family』の精神で医療を提供し夢のある健康社会の実現に向けて貢献して参ります。

## 基本方針

- 1.精神疾患及び その身体的管理の治療に日々精進する
- 2.早期社会復帰への支援活動に日々精進する
- 3.疾病予防対策を重んじた活動に日々精進する



## ～部署紹介～

## ファミリー病棟2階

人と人との関わりがとても希薄な現代社会において、ファミリー2階病棟は「看護を通して」家族のような雰囲気と暖かみのある対応を心掛けています。

患者様を尊重し、優しく暖かい心で接し、看護内容についてわかりやすく説明をし、患者様、ご家族様の満足度を高めるよう、スタッフ一同取り組んでいます。

家族や社会生活でのストレスや心身の疲労で悩みを抱えておられる方の休養の場として、短期間での社会復帰を目標としております。

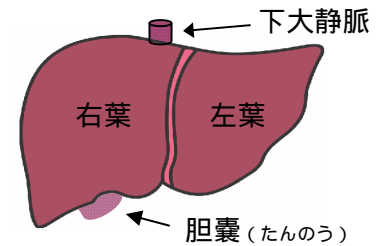
是非当院へご相談下さい。

ファミリー病棟2階師長 酒井正男

# 医局

## ～肝臓について～

肝臓は右横隔膜下に位置し楔形(くさびがた)をしており、その左縁は胸骨の剣状突起に達し、上縁は右中鎖骨線上ほぼ第5肋間に位置します。人体内の最大の実質臓器であり、成人の重量は1200～1500gで体重の約2%を占めます。解剖学的には肝鎌状間膜によって右葉と左葉に分けられます。



肝臓の脈管: 肝臓には他の一般の臓器とは異なる特徴的な血管支配があります。それは門脈と動脈の2つの血管により血液が供給されている点です。門脈は消化管から吸収された栄養分を肝臓に運ぶ栄養血管であり、肝血流量のほぼ70%を占めます。一方、肝動脈は酸素に富む機能血管で、残りの約30%を供給します。

門脈は上腸間膜静脈と脾静脈の合流から始まり、肝内に入る。門脈系には肝臓を経由しないで大静脈系に達するバイパス(側副血行路)がいくつかあります。(正常人にはあまり意味はないです)。

胆道系とは肝細胞の間隙(かんげき)である毛细胆管に始まり細胆管、小葉間胆管を経て合流を重ね、左右の肝管となり、これが1本の総肝管、さらに総胆管を経て十二指腸乳頭に開口します。

内科医 藤澤 貴興

# 看護

## ～精神科看護と向かい合う～

全ての看護の基礎は精神科看護と確信し、この世界に飛び込み30余年が過ぎました。

近年、外来における精神科の敷居は低くなり、病院をおとずれる人がとみに増えてきています。薬物療法をはじめとする治療法が進歩し、入院から外来治療へと流れが変わってきたとも言えます。精神科の病気は生物学的にかなり解明されつつありますが、未だ原因不明の病気が多いのも事実です。

精神科看護は常識では測りきれない人間のこころと向かい合うことであり、人間のあり方を問いつめられるものでもあります。とても難解で戸惑う場面が多いのですが、これを乗り越える為には患者さんと真剣に向かい合うこと、即ち**自分自身と向かい合う**ことなのです。患者さんが回復に向かう頃、同時に私達ナースも“心の豊かさ”という恩恵を蒙(こうむ)るのです。



看護総師長 穂庭 たえ子

## 患者様の権利と私たちからのお願い

患者様には、誰もが公平に医療を受ける権利があります。

私たちスタッフは、患者様中心の医療を実施するにあたり、『We are a family』の理念のもと、患者様と家族のような信頼関係を構築してゆきたいと考えております。そのために患者様には私たちの提供する医療に主体的に参加していただく必要があります。これは患者様が医療を受ける上での権利の確認と患者様の医療参加協力へのお願いです。

誰でも、どのような病気でも、個々の人格や価値観を尊重されながら、良質の医療を公平に受ける権利があります。

疾病や治療方針、検査内容等について、納得できるまで十分な説明を受ける権利と質問をする権利があります。また、治療方法等自らの意思で選択する権利があります。

患者様には診療記録の開示を求める権利があります。また、プライバシーが十分に配慮され、療養生活が守られる権利があると共に、患者様個人の情報が不適切に使用されている場合、使用の停止や訂正等を訴える権利があります。

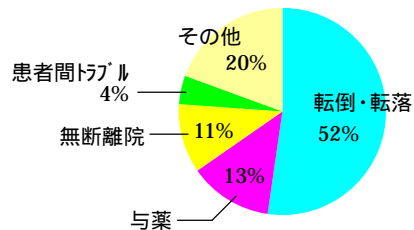
院長

# 安全管理対策

当院には患者様へ安全な医療と看護の提供を目的とする安全対策委員会が設置されています。安全対策委員会は日常業務の中で医療事故を防止するため、院内における医療事故防止策を検討するうえにおいて職種を問わず、10部門から18名のスタッフで組織されています。委員会は月1回開催され情報を共有化し、事故事例の収集、分析を行い同種事故の再発防止に取り組んでいます。更に安全対策の確認のため、委員による院内見回りも行われています。全国

の統計によれば、患者様が転倒するという事故が多く、当院においても転倒については原因の追究と予防策に力をいれております。次回は転倒、転落について。

インシデント・アクシデントレポート【H17年4月】



看護主任 鈴木 孝子

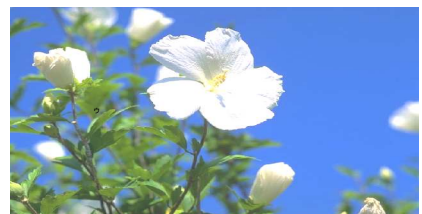
# 自助の心

## ～あきばなサークル～

あきばなサークルは第2・4週の木曜日、摂食障害を抱えながら入院する患者様が集まっておこなわれているグループです。当院医師の許可があれば、通院する患者様も参加することができます。摂食障害とは一般的によく知られている拒食症・過食症など、食べることに関する心身症のことを言います。その原因は強い葛藤、家族関係、遺伝的要因、社会的・文化的圧力などであると考えられており、過激なダイエットを

きっかけとすることも多くあります。あきばなサークルでは食べることの悩みに関わらず、日常生活のさまざまな悩みや関心を参加者が持ち寄ることで気楽に会話ができる場を作りつづけています。

【第2・4木曜日 14:45～16:00】



アートセラピスト 瀬崎 真也



今月は“玉ねぎ”を切るとなぜ涙が出るのか？という食物の不思議について。玉ねぎには辛みや香りの成分がいくつか含まれていますが、その中の“硫化アリル”という成分がどうやら関係しているようです。この硫化アリルは揮発性の催涙物質であることがわかっています。玉ねぎを切ると切り口の細胞がつぶれ、そこから硫化アリルが空中に揮発して、目の粘膜を刺激するので涙がでるのです。

硫化アリルは水に溶けやすいので、皮をむくときに水に浸しながらむいたり、水気のあるうちに切ったりすると防げます。また、揮発性なので、換気をよくして切るなどの方法で少しは楽になります。揮発…液体が常温で気体となって発散すること。



管理栄養士 丸山 めぐみ

# 外来診療体制表

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
精神科	阿部 小林 (10:00~)	北林	安野 楠野 (第1.3.5) 増田 (第2.4)	小林 増田	阿部 楠野	北林	林 田中 小牧 (第2.4)	安野 田中 小牧 (第2.4)	林 森	小林 森	安野 山本 明石	北林
心療内科											小林 (10:00~)	小林
内科	篠崎 藤澤 葛谷	篠崎 藤澤 前田	篠崎 金子	葛谷 金子	藤澤 財津	藤澤 財津 (16:00迄)	財津 藤澤	財津 藤澤	藤澤 前田	藤澤 河本	藤澤 河本 金子	藤澤 河本 金子
内視鏡			葛谷 (内科兼任)		葛谷 (内科兼任)				関根 (隔週)			
整形外科											吉田	吉田
皮膚科					内藤	内藤						

診療体制が都合により変更する場合がありますので、来院される際にご確認をお願いします。

## 病院概要

**診療科目** 精神科/神経科/ 心療内科/内科/外科/ 整形外科/リハビリテーション科/放射線科/ 皮膚科/歯科  
**許可病床数** 精神科 286 床/内科 70 床 曜日指定有

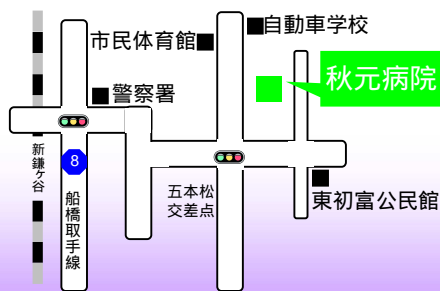
**診療日時** 月曜日～土曜日 午前 9:00～12:00 午後 13:30～17:00 (日曜日・祝祭日は休診、但し急患は随時受付)

### 承認施設基準

紹介患者加算 4/薬剤管理指導/看護補助配置加算/精神科テイクア(大規模)/特別の療養環境の提供/入院時食事療養( )  
 特別管理加算/理学療法( )/一般病棟入院基本料 3(群)/精神科病棟入院基本料 5/紹介外来加算/重症者等療養環境  
 特別加算/精神科作業療法

### 看護に関する事項

内科病棟 入院患者 3 人に 1 人以上の看護師と 6 人に 1 人以上の看護補助で構成  
 精神科病棟 入院患者 4 人に 1 人以上の看護師と 6 人に 1 人以上の看護補助で構成



東武野田線/北総開発線 新鎌ヶ谷駅より送迎バス有



医療法人梨香会 秋元病院

〒273-0121

千葉県鎌ヶ谷市初富 808-54

TEL047-446-8100

FAX047-446-8101

<http://www.akimoto-hospital.com>

Email:info@akimoto-hospital.com

5月号 平成17年5月発行/次号6/15

毎月15日発行

編集担当 医療連携局(秋元病院)

【表紙写真】ファミリー病棟2階スタッフ 前列右2 酒井正男看護師長

ご意見ご感想おまちしております